

## 教育懇談会（三春地区）懇談要旨

（日 時） 平成 26 年 7 月 10 日（木） 19：00～20：30

（場 所） 三春交流館まほら 学習室 C・D

（参 集 者） 三春まちづくり協会副会長外 22 名 教育委員会教育長外 5 名

（質疑応答）

**質問：特別支援学級の児童数が増えている原因や理由は何か。**

回答：支援の必要な児童生徒が何らかの理由で増えているのではなく、町は支援の必要な児童の早期発見等に向けた独自の取り組み（5 歳児検診の実施、保健師の継続的相談等）を行っている成果と考えられる。

**質問：三春中の通学路の安全性に関係するが、夜道は暗い場所があるので対処すべきと思う。**

回答：通学路の安全性確保については、防犯灯の増設、通学路表示板の設置、道路への外側線表示や歩行者専用横断道の整備等を行っているが、引き続き地元の安全協会の方々と連携して対応を進めたい。また対象となる県道についても整備促進を働きかけていきたい。

**要望：新町街路灯組合が 25 年度末に解散し電柱も撤去したため暗い状態にある。このため、代替措置として町への防犯灯設置を要望しているので是非とも対応をお願いしたい。**

**質問：放課後、街なかで子ども達の遊んでいる姿を見受けられない。なぜだと考えるか。**

回答：三春小児童の 4 年生以上の子はほとんどが特設部に入部しており、17 時くらいまで活動している。1、2 年生は概ね 15 時に下校、まほらっこの児童は約 40 名で 16 時に下校、児童館に通っている子は 18 時までには保護者が迎えにくる。このような状況もあり、下校後に友だち同士が待ち合わせて外で遊ぶ時間や機会は少なくなると思われる。

**質問：放射性物質検査の説明があったが、自宅の家庭菜園の作物も検査している。検査時に作物を刻むことになるが、家庭菜園作物なので少量であり刻むと食べる量が半減する場合もある。刻まなくても検査できる機器の導入は検討できないか。**

回答：刻まなくても検査できる機器の導入は検討しているが、現在設置中の保健センターでは機器の加重で設置は困難な状況にある。測定データとしては刻んだ方が正確であると言われている。なお、設置に関して動きがあれば広報等で町民の方々にお伝えしたい。

**質問：耐震関係の説明では旧三春中の新しい校舎棟の説明がなかったがどうしてか？**

回答：校門正面左側の校舎棟は、資料の説明文にもあるように昭和 56 年以降の建築物なので、耐震性を備えた建築基準に基づくため調査対象外となっている。

**質問：**資料の三春中に関するアンケート結果で、否定的な回答をしている生徒や保護者が1%程度いるがどのように考えるか。

**回答：**択一式アンケートであるため理由は不明である。多数の中では否定的な見解もあるのは止むを得ないと思うが、改善に向け対応したい。

**質問：**中学校生徒の不登校等についての対策は。

**回答：**不登校の生徒については、家庭事情等の様々な原因があるため、学校と家庭を繋いで対応を行うスクールソーシャルワーカーや保健福祉課とも連携している。また、三春中学校では週1日スクールカウンセラーが常駐し相談を行っている。

**質問：**現在、三春小の仮校舎になっている旧三春中の跡地利用計画は。

**回答：**三春小が大町へ移転した後に、将来を見据えて効果的な活用を検討したい。

**質問：**資料には子どもの学力についてのデータがないので、学校ごとの状況を示してほしい。また、町全体としてはどうか。

**回答：**全国学力テストは実施しているが、学校別学力の公表は少人数校もあり個人が特定される危険性があるため公表していない。平均すると、国語、算数（数学）は毎年、全国水準より高い。